

3 学習・社会参加

(1) 60歳以上の者の社会参加活動

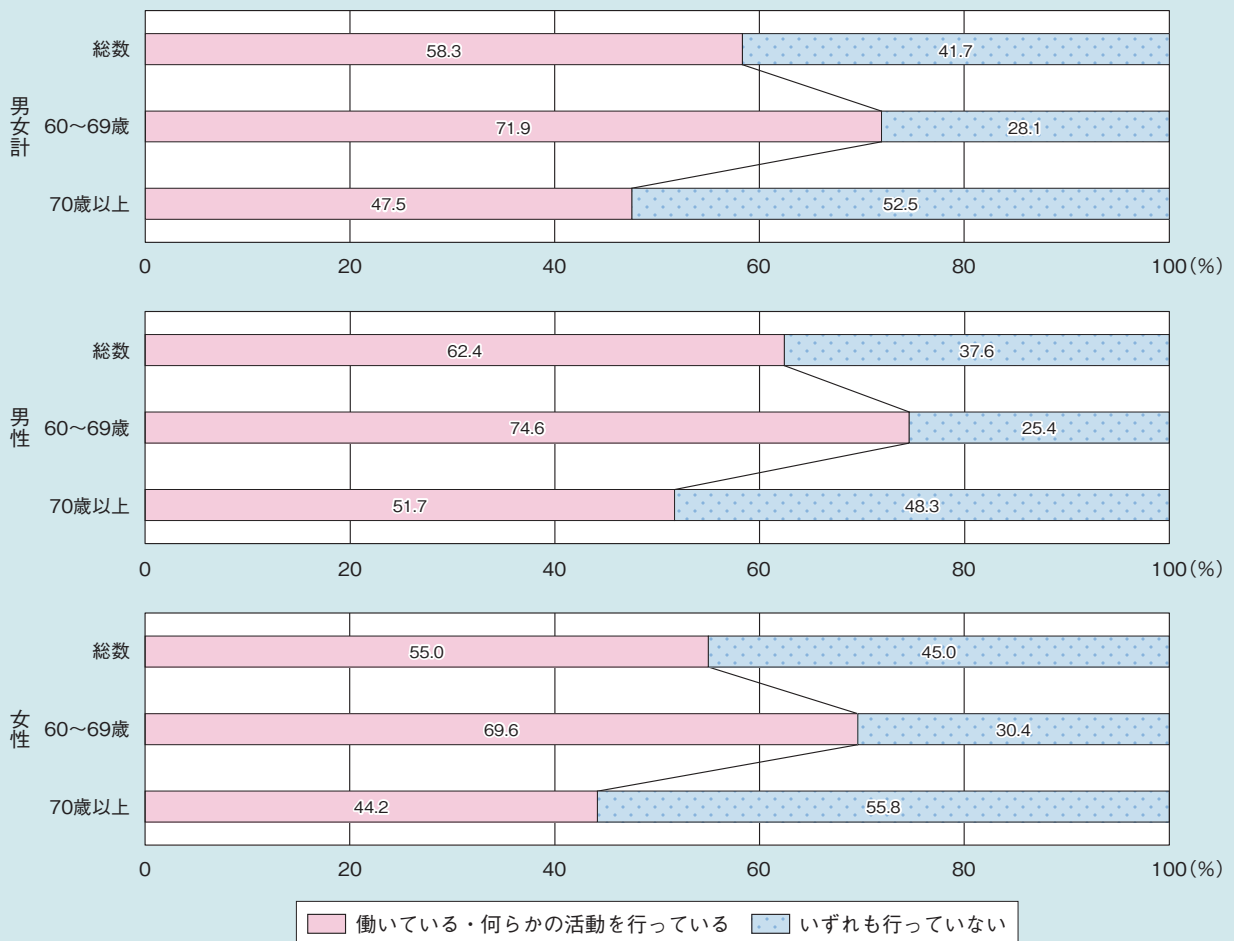
60歳～69歳の約7割、70歳以上の約5割弱が働いているか、またはボランティア等何らかの活動を行っている

60歳以上の者の社会活動の状況について見ると、60歳～69歳では71.9%、70歳以上では

47.5%の者が働いているか、またはボランティア活動、地域社会活動（町内会、地域行事など）、趣味やおけいこ事を行っている。

男女別に70歳以上での社会活動の状況を見ると、男性は51.7%、女性は44.2%の者が働いているか、何らかの活動を行っている（図1-2-3-1）。

図1-2-3-1 60歳以上の者の社会活動の状況



資料：厚生労働省「平成28年国民健康・栄養調査報告」

(注) 質問は「あなたは現在働いていますか。または、ボランティア活動、地域社会活動（町内会、地域行事など）、趣味やおけいこ事を行っていますか。」

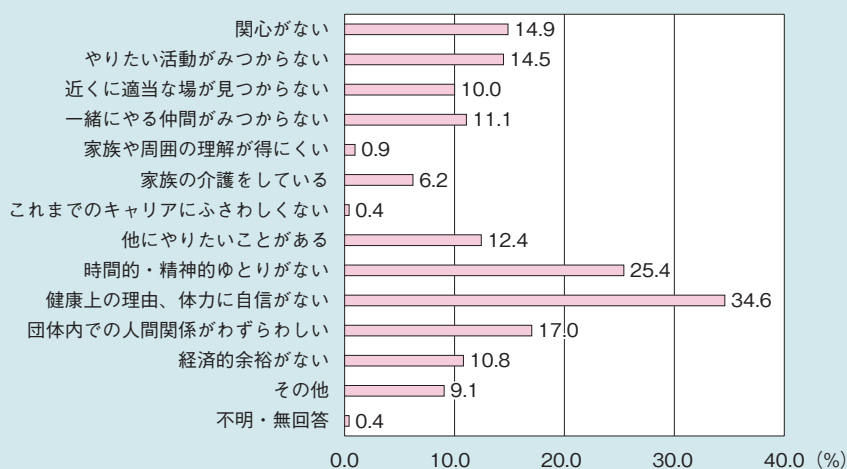
社会的な活動をしていない理由について見ると、「健康上の理由、体力に自信がない」(34.6%)、「時間的・精神的ゆとりがない」(25.4%)、「団体内での人間関係がわずらわしい」(17.0%)が多くなっている(図1-2-3-2)。

(2) 60歳以上の者の学習活動

ア 60～69歳の5割以上、70歳以上の4割以上が、この1年くらいの間に学習をしたことがある

60歳以上の者のうち、この1年くらいの間に学習をしたことのある人は、60代では55.0%、70歳以上では42.5%となっており、70歳以上で低くなる。学習の形式は、60代では「インターネット」が最も多く、16.5%である一方、70歳以上では「公民館や生涯学習センターなど公的な機関における講座や教室」が16.2%と最も多くなっている(図1-2-3-3)。

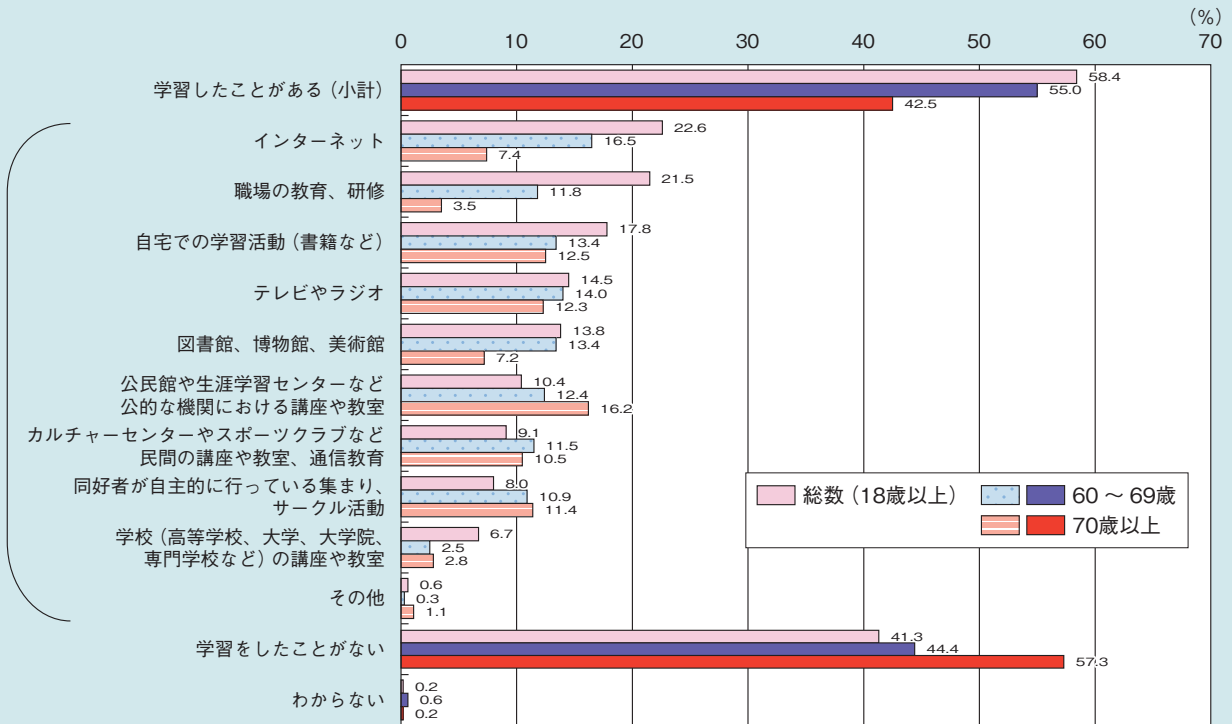
図1-2-3-2 社会的な活動をしていない理由(複数回答)



資料：内閣府「高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」(令和2年度)

(注1) 調査対象は、全国の60歳以上の男女のうち、福祉や環境を改善することを目的としたボランティア活動その他の社会活動を行っているかについて、「以前には活動していたが、今は参加していない」又は「全く参加したことがない」と回答した者

図1-2-3-3 この1年間の学習の形式（複数回答）



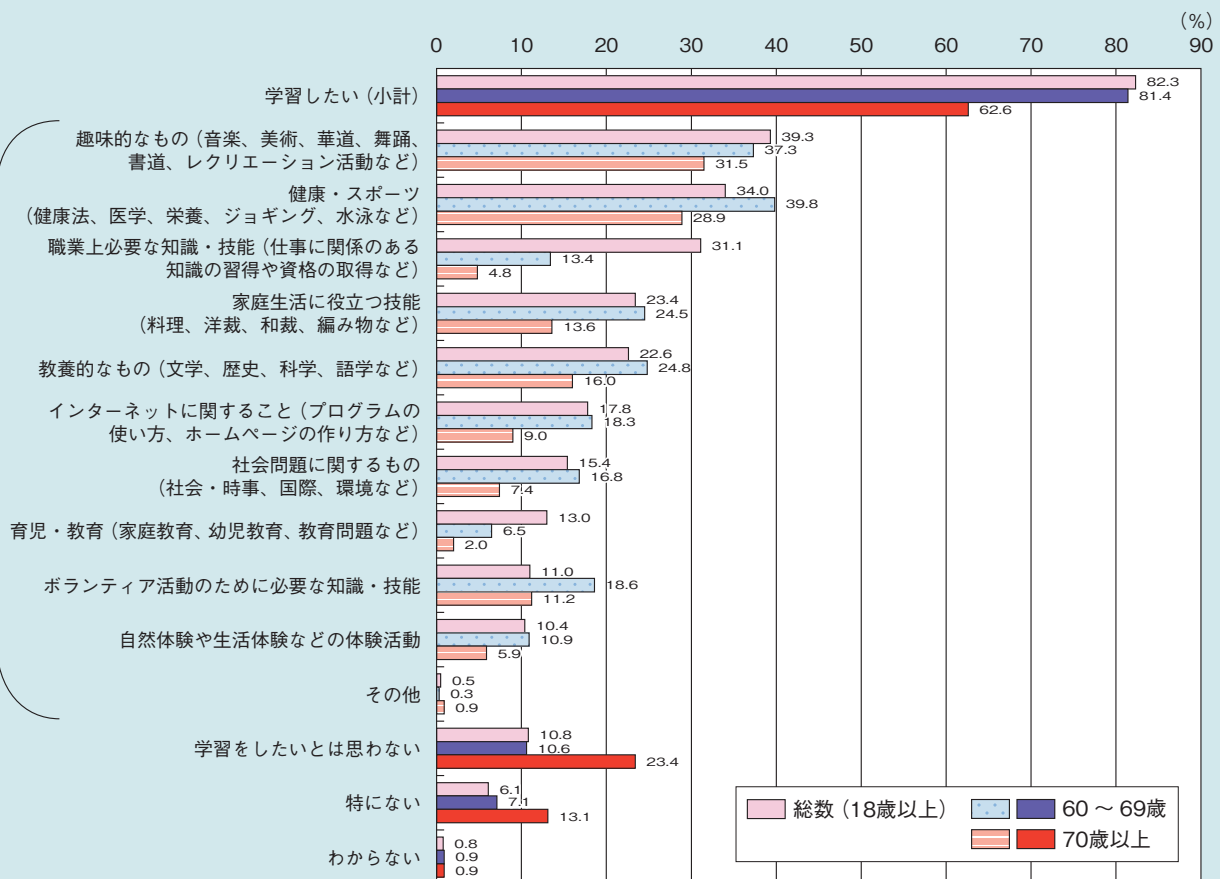
資料：内閣府「生涯学習に関する世論調査」(平成30年)

(注) 調査対象は全国18歳以上の日本国籍を有する者であるが、そのうち60～69歳及び70歳以上について、それぞれの年齢区分の回答を抜粋して掲載

イ 60～69歳で8割、70歳以上で6割の人が「学習したい」と回答

60～69歳で81.4%、70歳以上で62.6%の人が「学習したい」と回答している。これから学習するとすればどのようなことを学習したいかを聞いたところ、60～69歳では「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」が39.8%と最も多く、70歳以上では「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など）」が31.5%と最も多い（図1-2-3-4）。

図1-2-3-4 今後学習したい内容（複数回答）



資料：内閣府「生涯学習に関する世論調査」(平成30年)

(注) 調査対象は全国18歳以上の日本国籍を有する者であるが、そのうち60～69歳及び70歳以上について、それぞれの年齢区分の回答を抜粋して掲載